

## 生麦中学校中期学校運営計画(生麦中学校マニフェスト)

## 計画期間

平成18年12月1日～22年3月31日

## 学校教育目標

- ・思いやりの気持ちを大切に、心の豊かさを育みます。(学び合い、心と体、共生)
- ・向上心を持ち、麦のようにたくましく生きる力を高めます。(自立、解決、生活、評価)
- ・創造力を豊かにし、社会に貢献する姿勢を養います。(横浜、選択、個性)

## 学校経営方針

1. 教職員の誰もが、生徒の人権を尊重し、生徒理解を深め、次代を担う人材の育成に努めます。
2. 生徒の誰もが「安全」に「安心」して、そして「安定」した学校生活を送れるように、地域と連携して取り組みます。
3. 学校教育目標の具現化を図るため、教職員が一丸となって学校運営に取り組みます。
4. 学習実感のある授業作りを目指し、指導法、指導内容の充実を図ります。
5. 地域に開かれた学校を目指し、情報公開を積極的に図ります

## 指導の重点

1. 学ぶ意欲の導き  
生徒の学習意欲を引き出し、自ら学ぶ喜びや達成感の持てる授業を工夫します。
2. 基礎・基本の定着を図った教科指導とわかる授業の実践  
TTや少人数指導を取り入れ「わかる喜び」を実感できる指導の実践を行います。
3. 「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校生活の充実  
学級・学年・その他の集団中で、互いの人権を尊重し、充実した学校生活を送れるよう支援します。
4. 不登校生徒への支援  
共感的理解に立って、保護者、スクールカウンセラー、生徒指導専任その他関係機関と連携を密にし一人ひとりに対応した取り組みを支援します。
5. 「学校の中心は生徒である」との視点に立って  
生徒の主体的取り組みを支援していきます。

## 改善の視点

## 取組目標

1 生徒の学習意欲の向上と基礎・基本の定着を目指した取り組みが必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己有用感と自尊感情の醸成を目指し、少人数指導やチームティーチング(TT)での指導を通して、学習意欲の向上に向けた取り組みを図ります。</li> <li>・基礎・基本の定着を目指し、補充的学習としての夏季学習会の充実を図ります。</li> </ul>
2 地域と連携を図り、地域との関わりの中で育てていく教育活動が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携を図りながら、校内、外を通した生徒のボランティア活動の充実を図ります。</li> <li>・地域での職業体験学習を活用して、キャリア教育の推進を図ります。</li> </ul>

3 生徒の体力の向上が必要です	・19年度より新体力テストの全校実施と、その結果の活用についての取り組みを進めると共に、生徒個々の課題について指導の充実を図ります。
4 開かれた学校を目指し、学校からの情報発信や、地域、保護者からの情報受信が必要です。	・「学校だより」の定期的な発行と、学校ホームページ等の活用を通して情報発信の充実を図ります。また、学校からメール等を活用した情報発信等についても取り組みます。 ・学校評価アンケートを通して、校内体制や組織の見直しを進めると共に、より良い学校づくりに生かしていきます。
5 教師と生徒の人間関係作りを基本とした相互理解の取り組みが必要です。	・共感的理解に立って生徒との人間関係作りを目指し、教職員のスキルアップ研修の充実と、生徒理解を含めた情報交換のシステム化を進めます。 ・不登校生徒の保護者との連絡を密にすると共に、スクールカウンセラーや外部機関との連携を密にし、一人ひとりに対応した取り組みを行います。
6 今日的課題として、個人情報保護と管理の在り方についての取り組みが必要です。	・生徒の個人情報や校内で扱う情報等について、管理体制の確立と個人情報保護の視点に立った取り組みを行います。

人材育成の考え方	・教育委員会主催等の研修会を活用すると共に校内研修の充実を図ります。 ・教職員の総意を生かし、学校全体の活性化につなげるための、プロジェクトによる課題解決の取り組みを行います。
平成18年度の重点 取組項目	・情報公開等「学校だより」の定期的な発行 ・毎月一週間単位での授業参観週間の実施 ・夏季学習会の実施(今後回数内容を検討) ・文部科学省研究開発学校(英語科教育)の推進 ・人権教育推進のための職員研修と、生徒への取組みの明確化
これまでの取組結果	
教育懇話会の意見	・計画の具体性についてもう少し細部に渡り示した方が良いのではないかと。 ・教育活動は数値で示すことの難しさがあると思う。 ・少人数指導ではテストの結果でクラス分けをするのも一つの方法ではないかと。 ・職業体験学習は地域との関わりにおいても必要である。 ・ボランティアの在り方について災害時、中学生の援助も必要である。 ・「学校だより」については地域の反応については掴みにくいですが、学校の様子があるので、必要である。 ・風紀上の課題についての文言が見つからない。